

株式会社 ニッキ
会社説明会資料
2016年9月29日

ニッキってどんな会社??

市場： 東証2部
証券コード：6042

➡ 主に **天然・LPガス** を燃料とするエンジンの

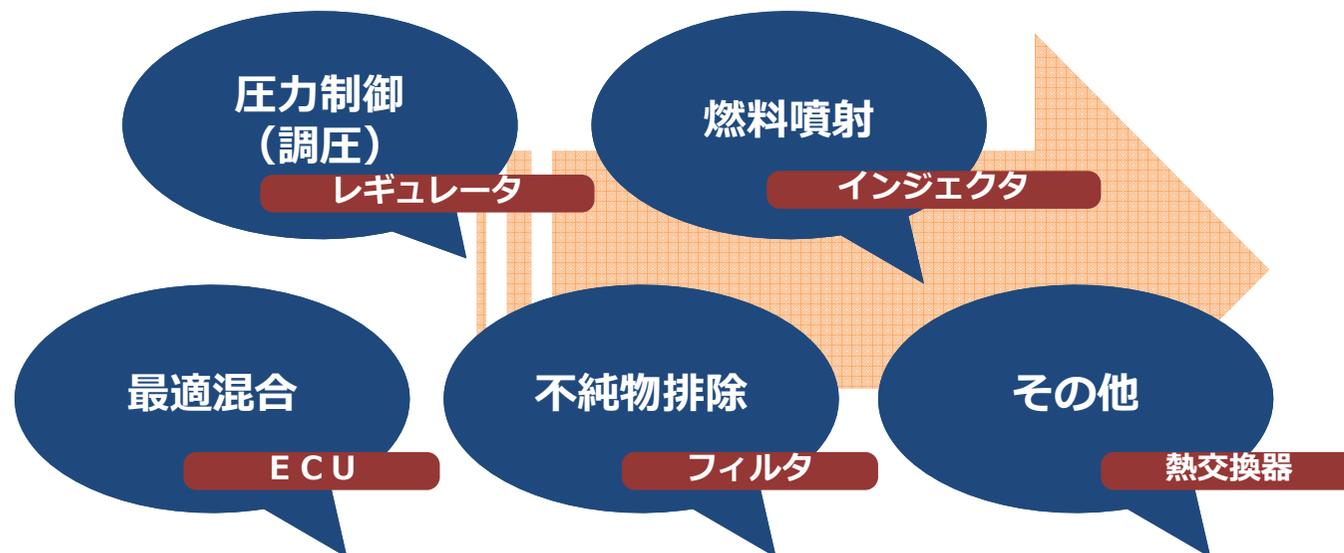
燃料供給システム メーカーです

本社は厚木市 海外6カ所に拠点



燃料供給システムとは??

ガソリンやガスなどを効率的に
エンジンへ供給する仕組み



燃費性能
環境対応

レギュレータ

圧力制御
(調圧)



フィルタ

不純物
排除



インジェクタ

燃料噴射



最適混合

ECU

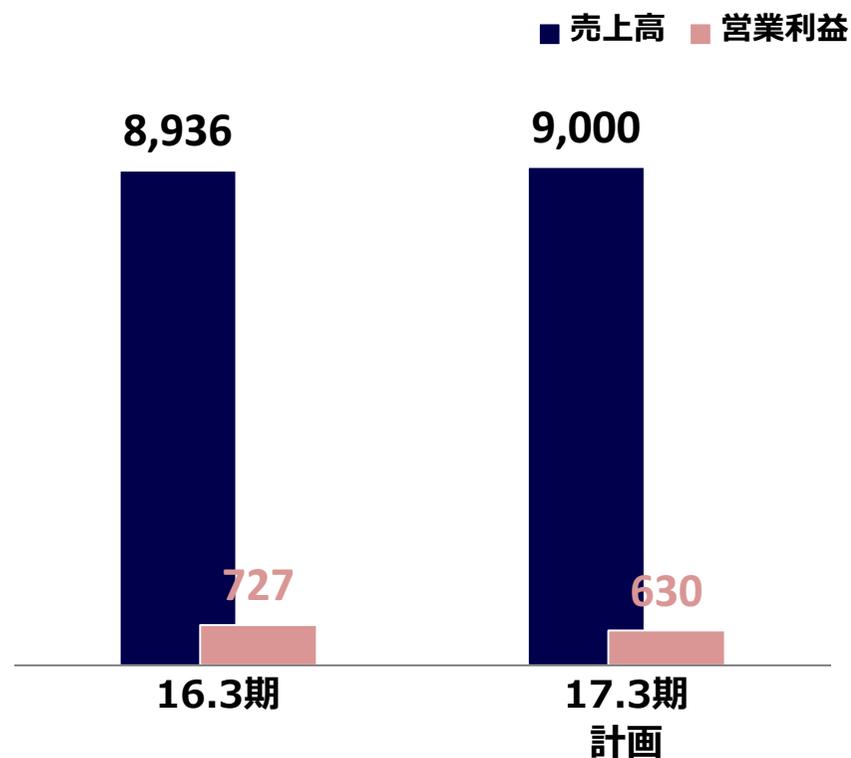


熱交換器

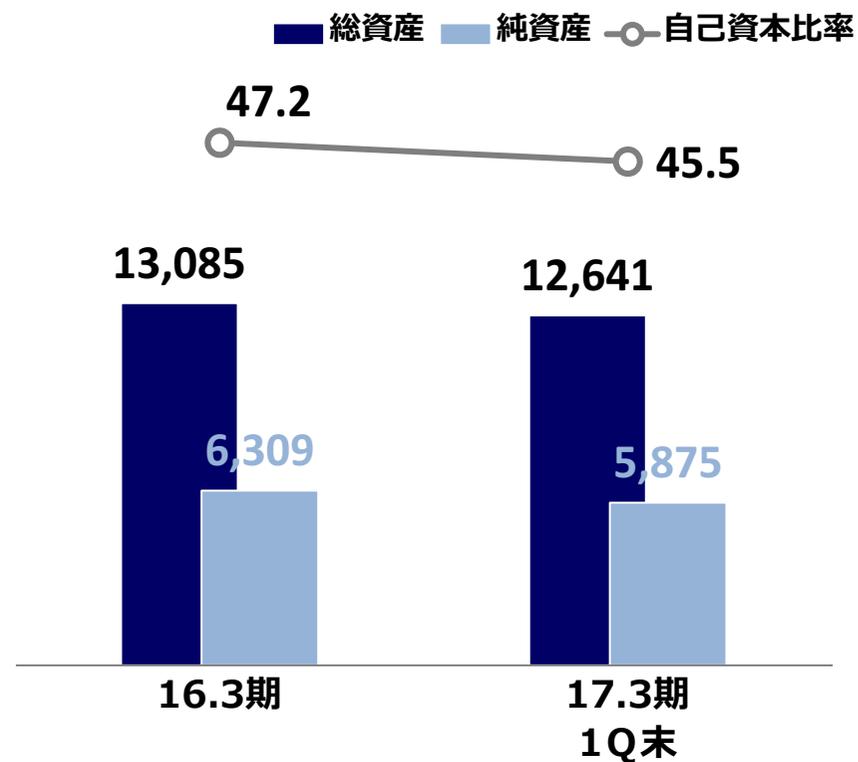
その他



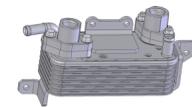
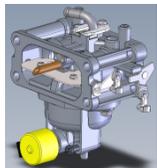
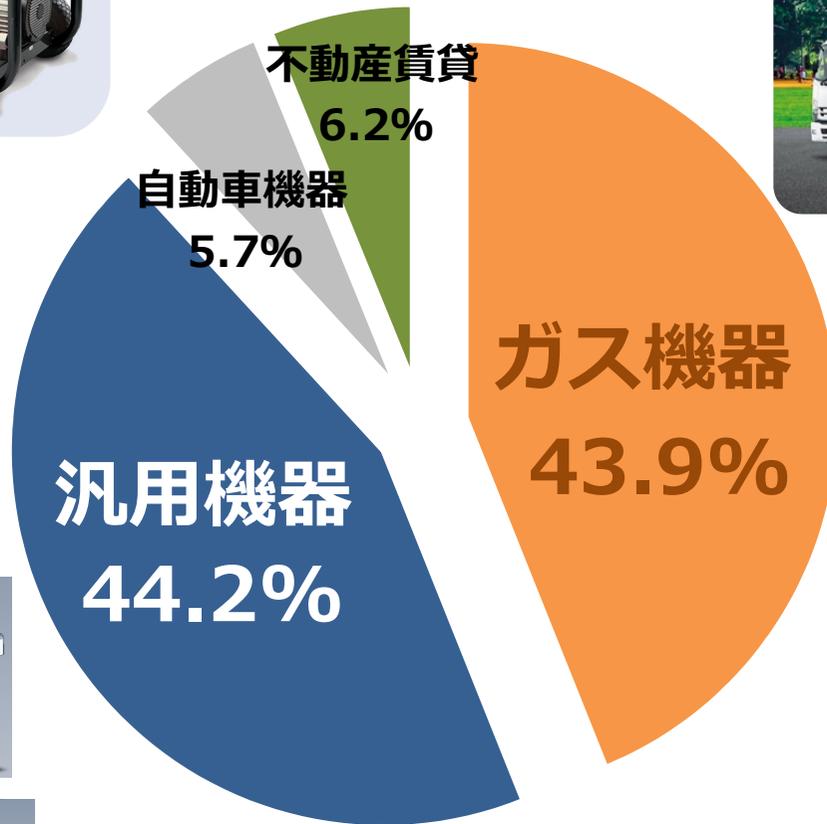
売上高・営業利益 (百万円)



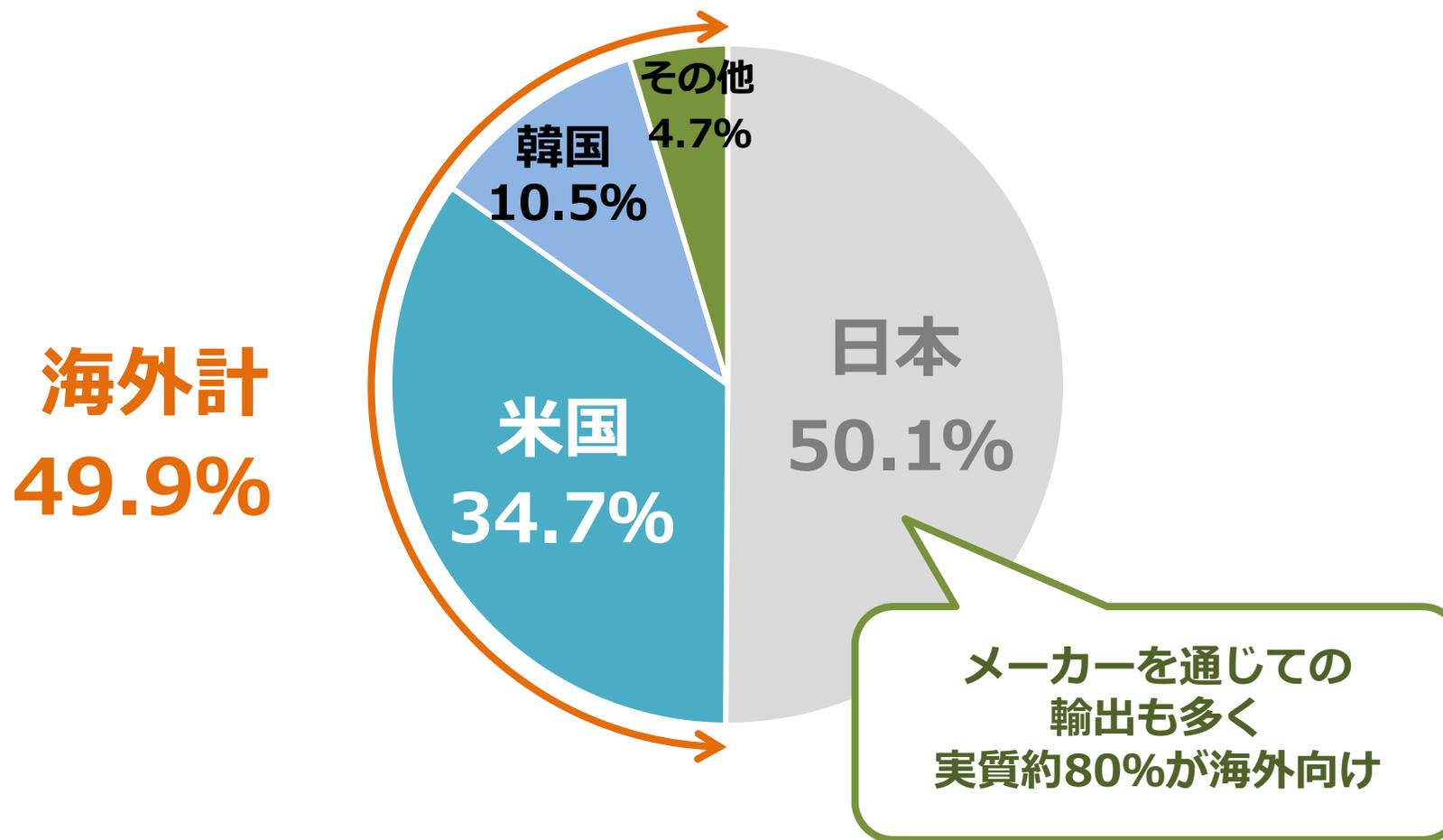
総資産・純資産 (百万円、%)



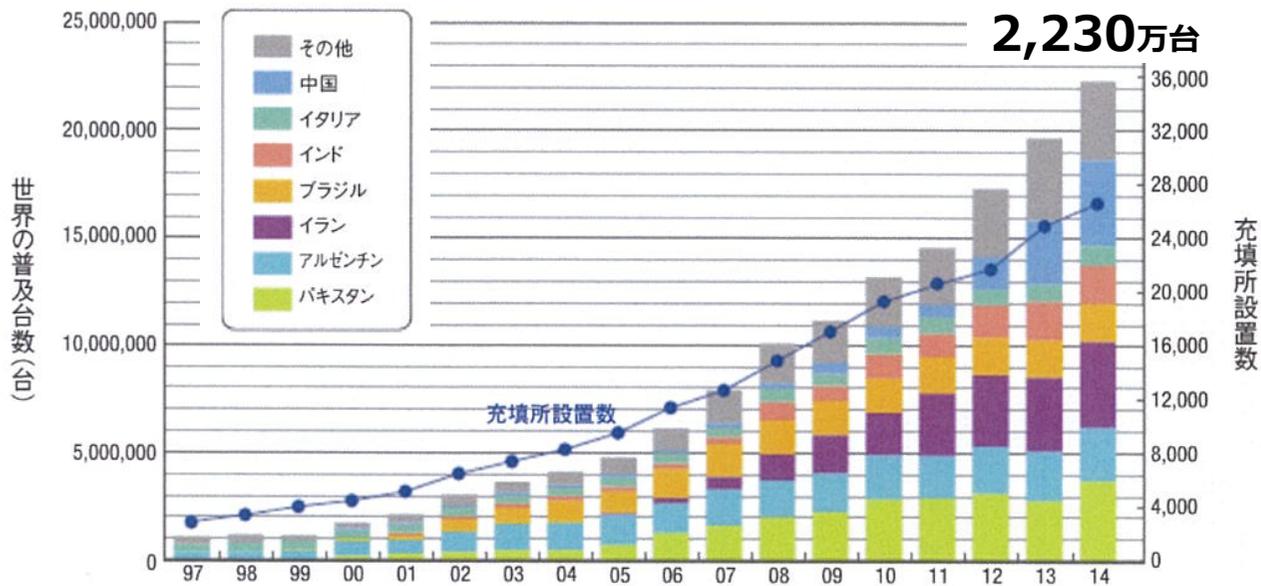
事業別売上高構成比 (2016年3月期)



地域別売上高構成比
(2016年3月期)



世界での天然ガス自動車普及台数



2035年
IEA予測
3,500万台

実用性・環境性能からも
世界の環境対応車の中で
主流の位置付け

出所：天然ガス自動車の普及に向けて2016、天然ガス自動車カタログ2016

天然ガス自動車国別台数 (2015年3月末)



は当社製品納品済の国

	国名	台数		国名	台数
1	イラン	4,000,000	14	バングラデシュ	220,000
2	中国	3,994,350	15	エジプト	207,617
3	パキスタン	3,700,000	16	ペルー	183,786
4	アルゼンチン	2,487,349	17	ウクライナ	170,000
5	インド	1,800,000	18	ドイツ	98,172
6	ブラジル	1,781,102	19	ロシア	90,050
7	イタリア	885,300	20	ベネズエラ	90,000
8	コロンビア	500,000	21	ジョージア	80,600
9	タイ	462,454	22	ブルガリア	61,320
10	ウズベキスタン	450,000	23	マレーシア	55,999
11	ボリビア	300,000	24	スウェーデン	46,715
12	アメリカ	250,000	25	日本	44,676
13	アルメニア	244,000	26	その他	132,283
			合計		22,335,773

出所：「The Gas Vehicles Report」2015年3月号

※数量は、端数をまとめた大まかな参考の場合もある

業界でのポジションは??



- ① **ガス専用部品**を製造(ガソリン部品の転用ではない)
- ② 単品部品ではなく**システム供給**が可能
- ③ **高度な制御技術システム** (ECUのソフト)
- ④ **独立系**であり、**幅広い取引先**を持つ

日系燃料供給システムメーカーとの比較

	独立系。天然ガス自動車向けに注力し、ガソリン用部品の転用でないガス専用部品を製造。汎用機器向けも展開。
A社	トヨタ系。燃料噴射システムだけではなく、幅広く自動車部品を供給。
B社	ホンダ系。四輪が中心だが二輪の燃料噴射システムも。
C社	トヨタ系。燃料ポンプモジュール、スロットルボディが主力製品。
D社	独立系。二輪の燃料噴射システムが主力。

ニッキが描く未来は??

➔ **外部環境の変化** に左右されず

増収・増益決算 を継続していく

上流工程への
関与を拡大

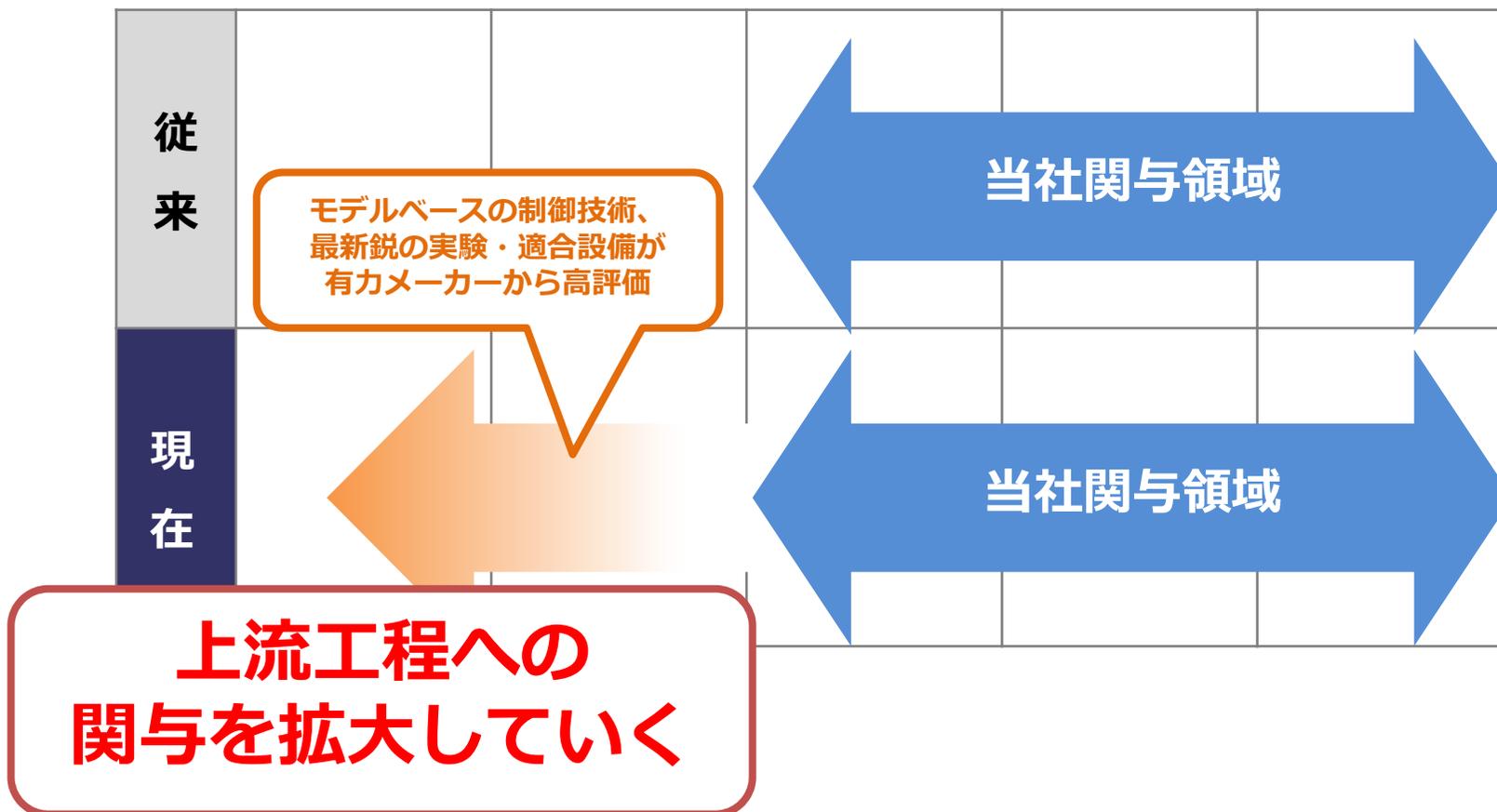
価格ニーズを捉えた
ボリュームゾーン
への進出

更なる
コスト低減

ガス機器事業の
地理的拡大

新規事業領域
の拡大

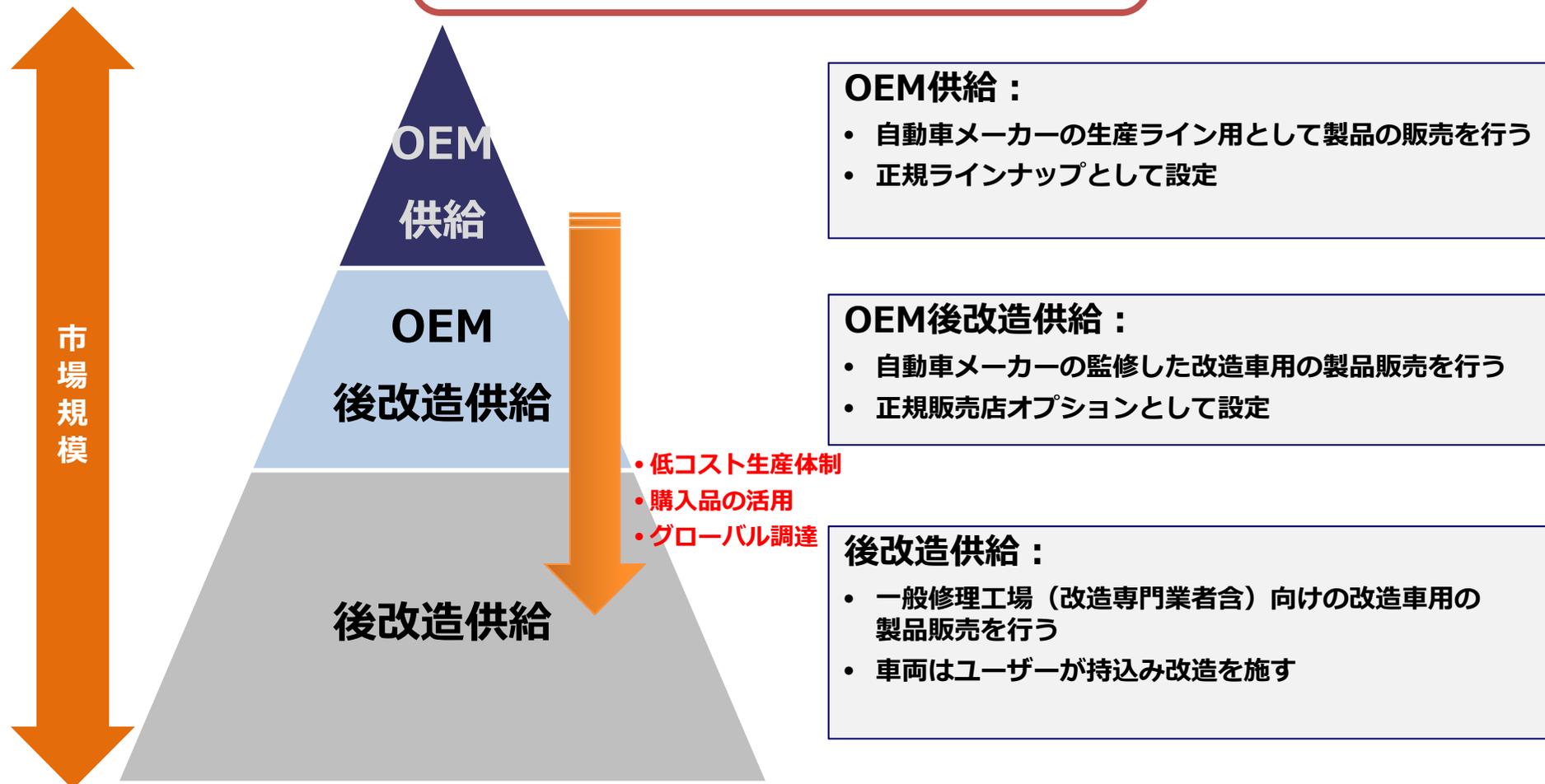
＜ 自動車・トラックメーカーの開発工程 ＞



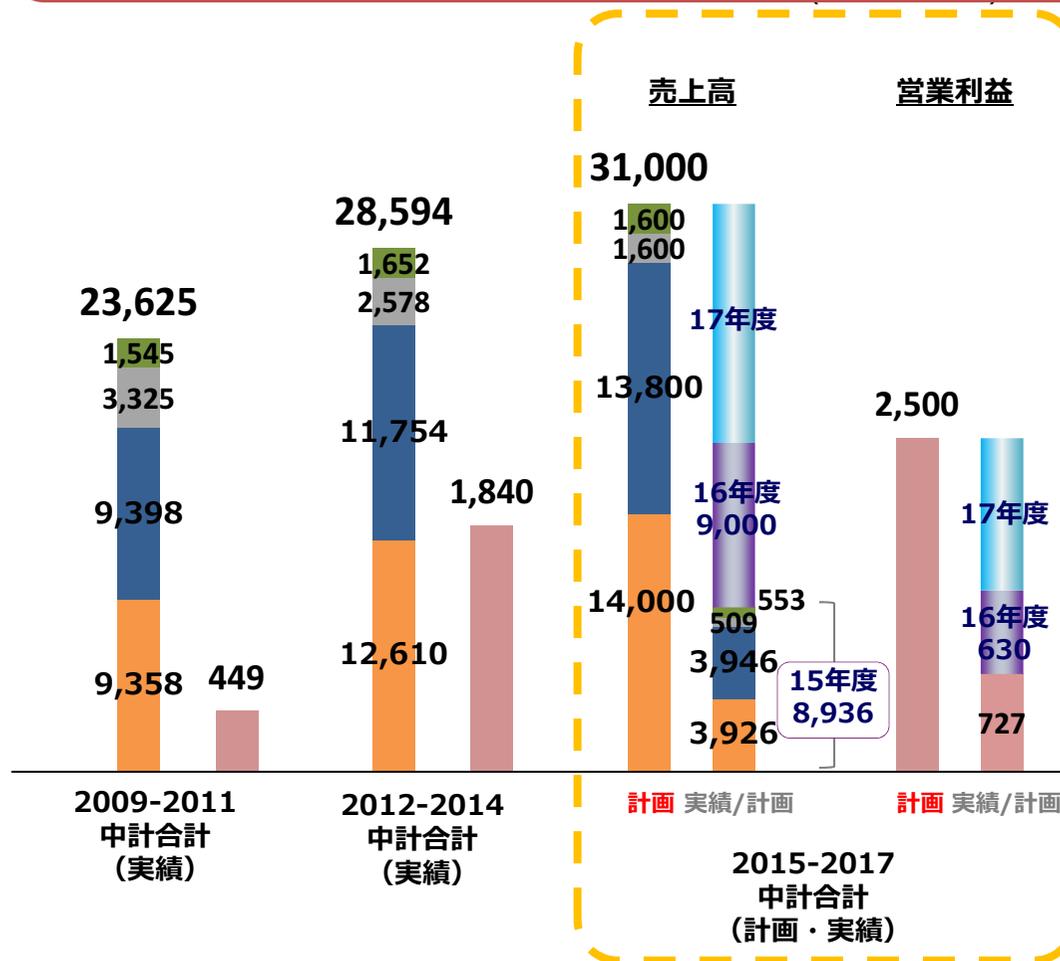
- 営業拠点
- 生産拠点兼営業拠点



市場にマッチした 製品開発・投入を推進



持続的な成長の実現を目指して、増収・増益決算を 継続できる事業基盤・体制の構築を図る



<重点方針・施策>

1. 売上規模拡大
2. コスト低減・収益拡大
3. 事業領域・個人領域の拡大

<計数目標 (連結) >

3力年合計

売上高	31,000百万円
営業利益	2,500百万円

ニッキのこれまでの歩みは??

自動車用

航空機用

➔ 1932年に 気化器工場として設立

外部環境の変化に 技術開発力 で対応

燃料

ガソリン

天然ガス

システム

機械式制御

電子式制御

1930年代



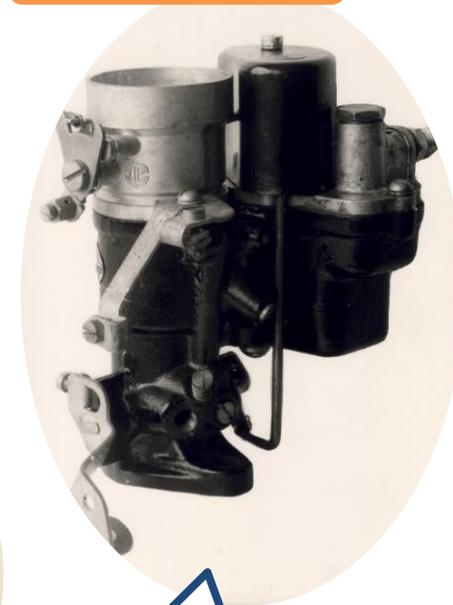
第1号キャブレタ
NV-42

1940年代



戦闘機用キャブレタ
中島飛行機向け 2連式70乙型

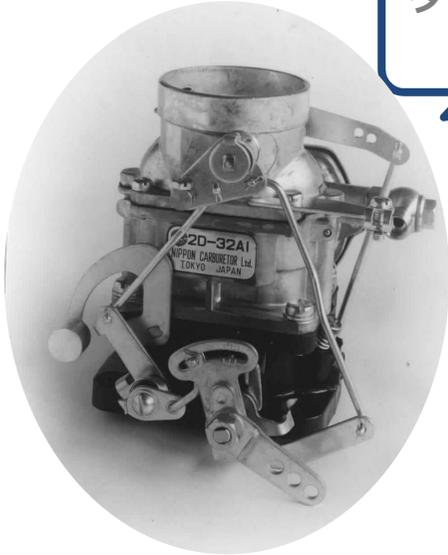
1950年代



ダットサン用
D-37Eキャブレタ

1960年代

ダットサンブルーバード用
2D-32A型キャブレタ

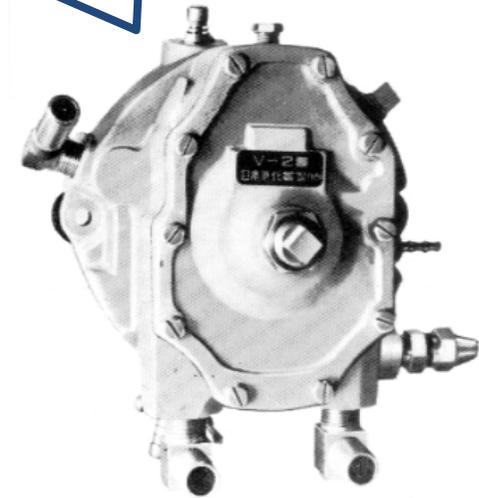


1970年代

プリンス グランドグロリア用
四連2段式キャブレタ

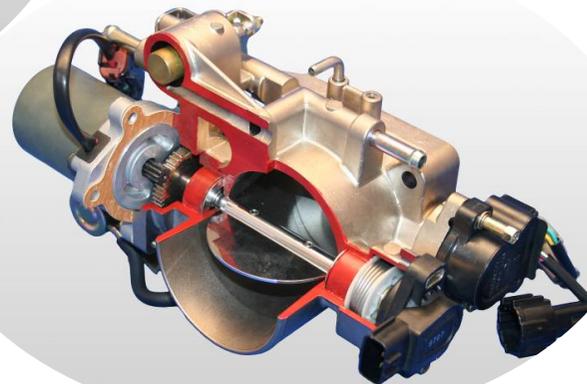
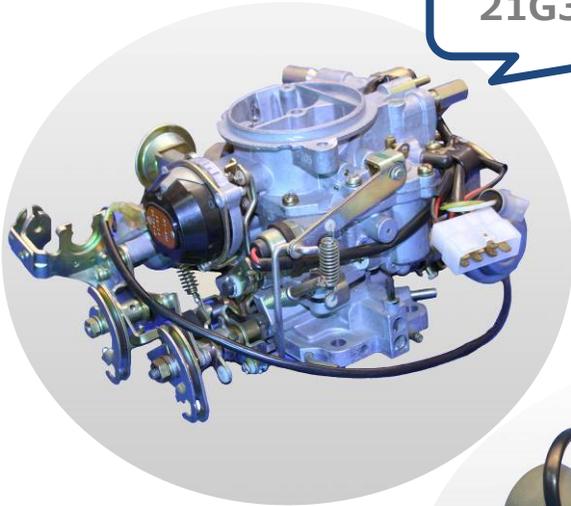


プリンス自販
V3型 LPGベーパーライザ

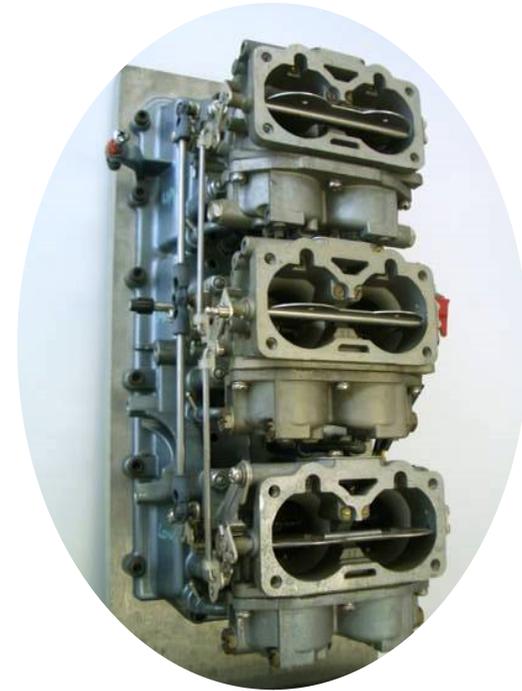


1980年代

東洋工業 カペラ用
21G304型 キャブレタ



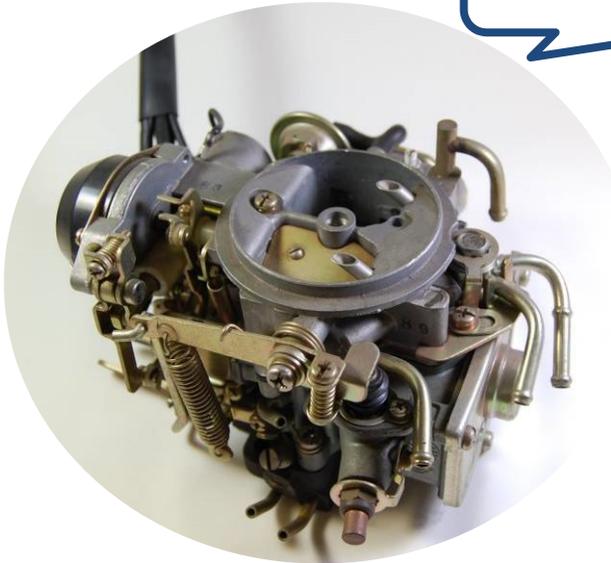
日産 インフィニティ用
01H型 スロットルチャンバ



三信工業 大型船外機用
電子制御3連 キャブレタ

1990年代

日産 L28セドリック用
DC12360-298 キャブレタ



Briggs&Stratton向け
M-28用 G型 キャブレタ



日産 マーチ用
EJ型 スロットルチャンバ

2000年代

天然ガス自動車用
3ステージレギュレータ



天然ガス自動車用
2ステージレギュレータ
(噴射システム用)



天然ガス自動車用
シングルポイント
インジェクタ

近年

CNGエンジン用
電子制御ユニット (ECU)

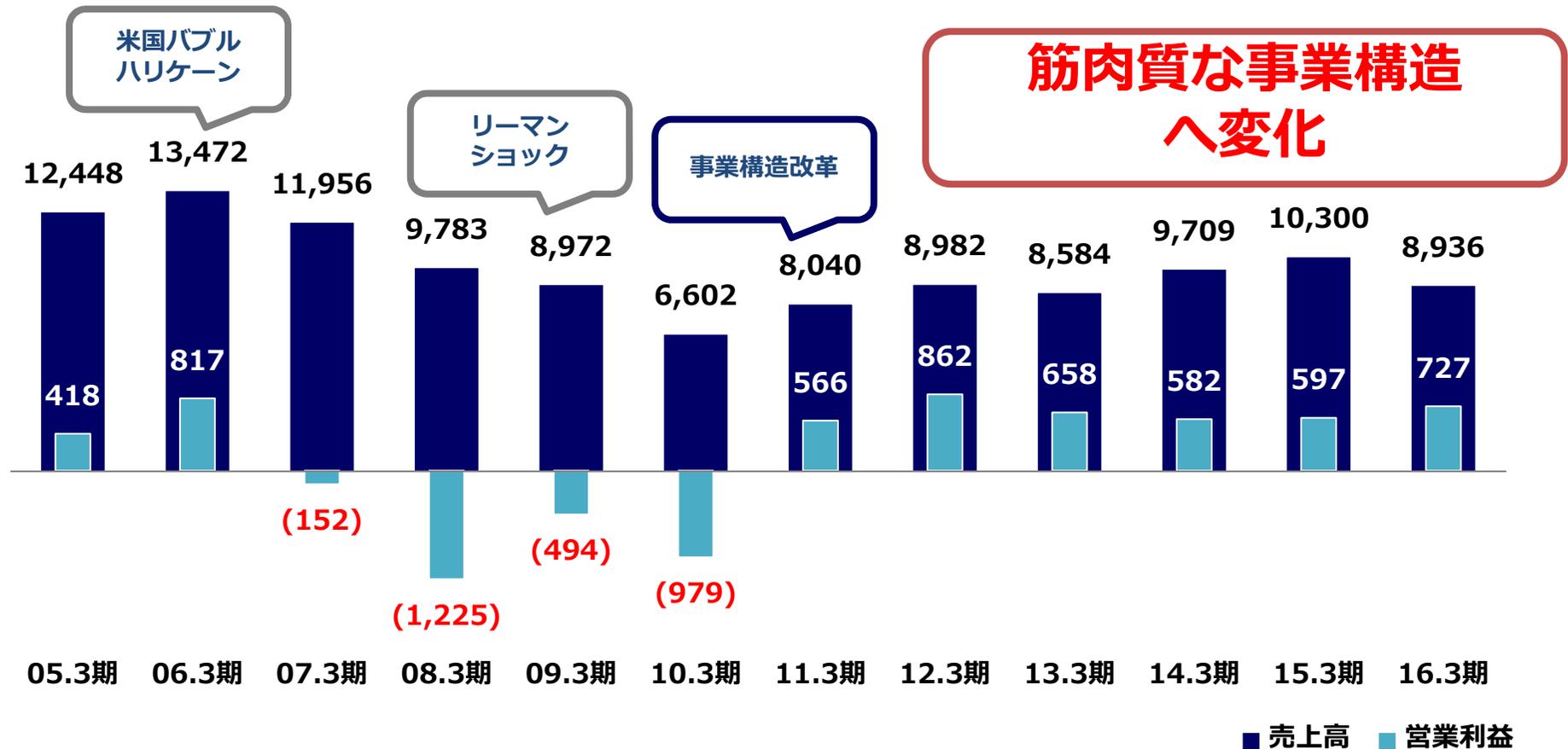


大型車用 CNGインジェクタ



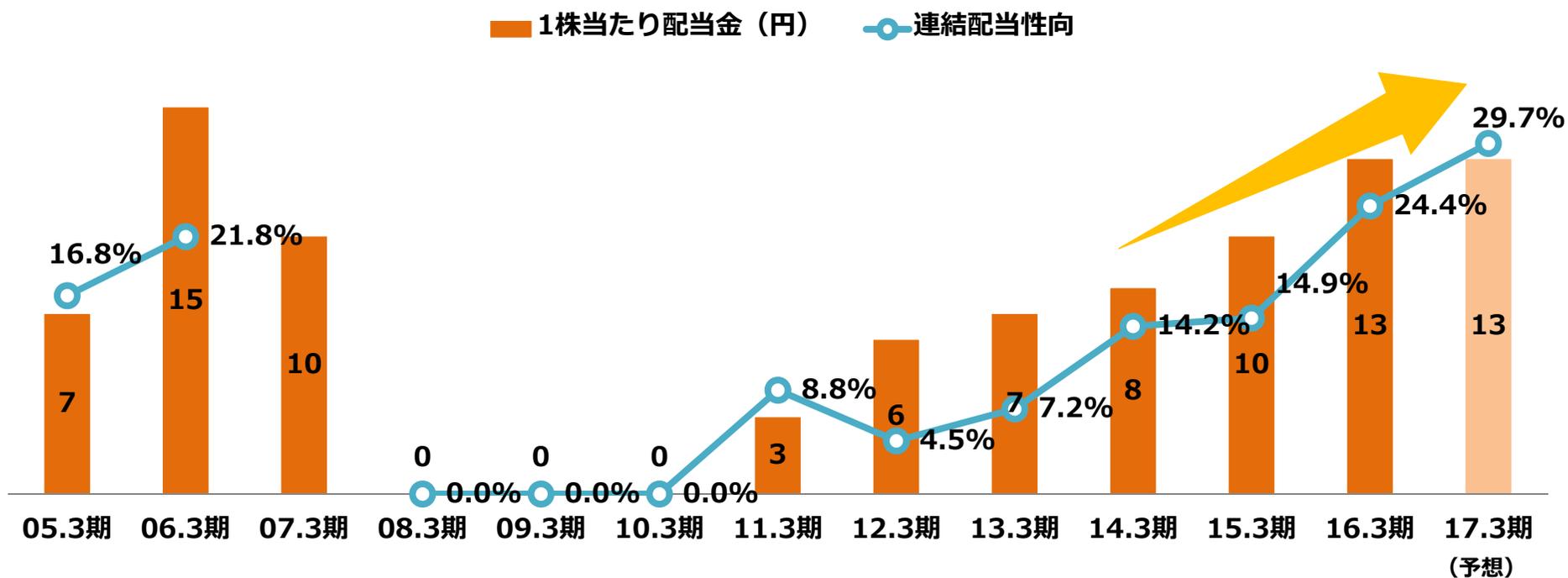
レギュレータ

連結売上高・営業利益推移 (百万円)



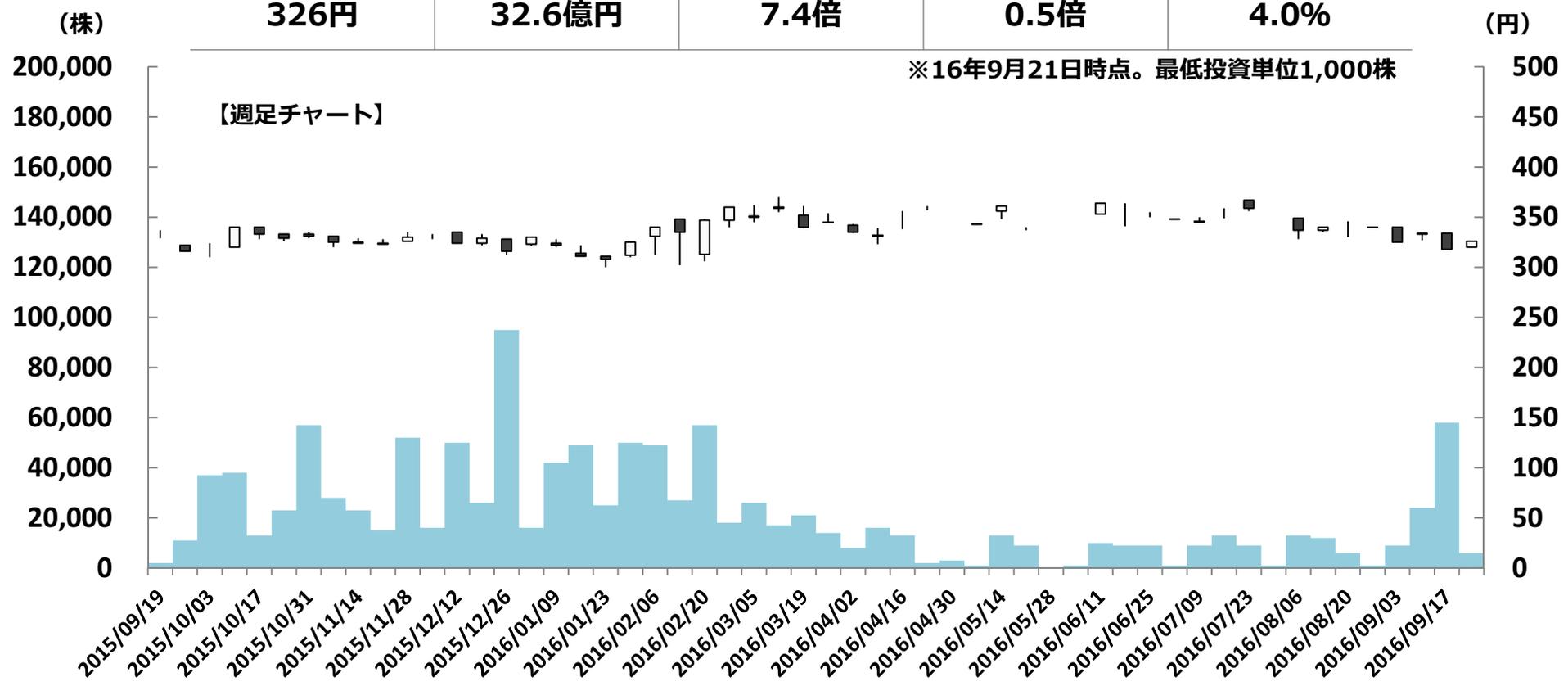
ニッキの株主還元策は??

➔ **連結配当性向30%を目標**



※07.3期は赤字のため連結配当性向は算出不可

株価	時価総額	予想PER	実績PBR	配当利回り
326円	32.6億円	7.4倍	0.5倍	4.0%

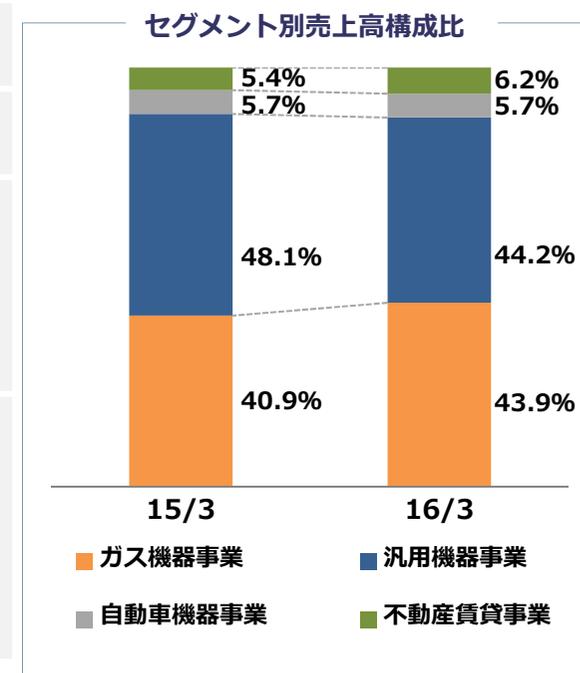


ご清聴ありがとうございました。

参考資料

「ガス燃料供給システムで環境へ貢献」

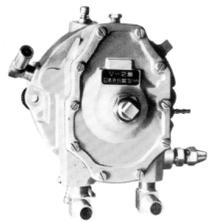
商号	株式会社ニッキ
所在地	神奈川県厚木市上依知3029番地
資本金	500百万円
代表者	取締役社長 和田 孝
設立	1932年2月
従業員数	583名（連結ベース、2016年3月末）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ LPG・CNG・LNG燃料供給システムの設計・開発及び関連機器の製造 ■ 船舶・小型エンジン用気化器及び燃料関連デバイスの設計・開発及び製造 ■ 自動車用燃料関連デバイスの設計・開発及び製造 ■ 不動産賃貸事業
関係会社	<ul style="list-style-type: none"> ■ NIKKI AMERICA FUEL SYSTEMS,LLC、NIKKI AMERICA,INC. ■ 瀋陽日新気化器有限公司 ■ NIKKI INDIA FUEL SYSTEMS PRIVATE LIMITED、 ■ NIKKI KOREA CO.,LTD.、NIKKI(THAILAND) CO.,LTD. ■ (株)ニッキ ソルテック サービス、ニッキ・テクノ(株)



伝統から革新へ



芝刈機用
U-22型キャブレタ



V3型
LPGベーパーライザ



集約型
スロットルボディ



インジェクタ

・2014年
LNG用1段式
レギュレータ開発

・2006年
汎用電子制御噴射
システムの製造

・2009年
ガス用トップフィード
インジェクタ開発

・2010年
CNG用1段式
レギュレータ開発

・2001年
LPG電子制御気体
噴射システム開発

・1985年
船外機用気化器を
開発

・1982年
自動車用電子制御気
化器、自動車用ス
ロットルボディ開発

・1991年
圧縮天然ガス燃料
システム開発

・1963年3月
自動車用LPGキャブ
レーション装置開発

・1946年
自動車・農業エンジン
用気化器、燃料ポンプ
を開発

・1933年3月
自動車・航空機エン
ジン用気化器を開発

・1932年2月
創立



第1号キャブレタ
NV-42

・1961年7月
本社工場完成

・1961年10月
東証2部に上場

・1967年
厚木工場を建設



船外機用
キャブレタ

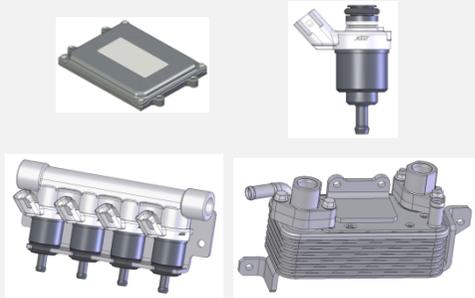


ECU



大型車用
CNGレギュレータ

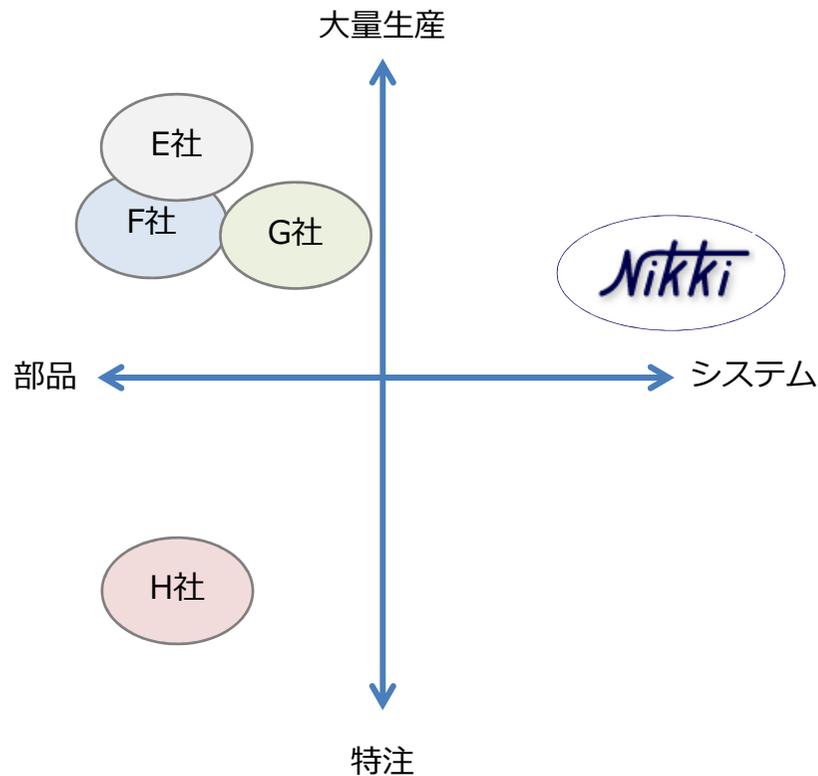
事業部門の構成と製品

事業セグメント	ガス機器事業	汎用機器事業	自動車機器事業	不動産賃貸事業
市場	東南アジアや東アジアへの輸出が中心。今後、北米、ロシア、インドネシア、中東等を開拓	米国向けが多く、芝刈り機・発電機用が約7割を占める。発電機需要の発掘を推進	東南アジア、中東への輸出	<ul style="list-style-type: none"> 東京都品川区にオフィスビルを所有
主要顧客	GM Korea、いすゞ自動車、日野自動車、広西玉柴機器、ユニキャリア	Briggs & Stratton Corporation、Kohler Company、川崎重工、富士重工、Cummins Power Generation	日産自動車、トヨタ自動車、マツダ、江西いすゞ	<ul style="list-style-type: none"> 安定収益
製品	<ul style="list-style-type: none"> 国内外のLPG・CNG車・フォークリフト向けの燃料供給システム（ECU、インジェクタ、ベーパーライザ、レギュレータ、熱交換器、フィルタ、ミキサ等） 	<ul style="list-style-type: none"> 汎用気化器（農業用、産業用）、船舶用気化器、二輪車向け噴射システム等 	<ul style="list-style-type: none"> 国内外のガソリン車用のスロットルボディ、気化器、アクセルワイヤユニット等 	
生産拠点	日本、中国、タイ	インド、中国、米国、日本	日本	

当社の強み（1）

- ガス機器の燃料供給システムを構成する主要部品を全て製造可能
- 高出力・高精度性、燃費向上・排ガスクリーン化を実現する高い制御技術
- 様々な顧客要求にも対応可能な最新鋭の実験設備（開発アウトソーシングニーズへの対応）
- 系列に属さない独立系

ガス燃料供給システム（部品）会社ポジションマップ



当社の強み



当社の強み（2）

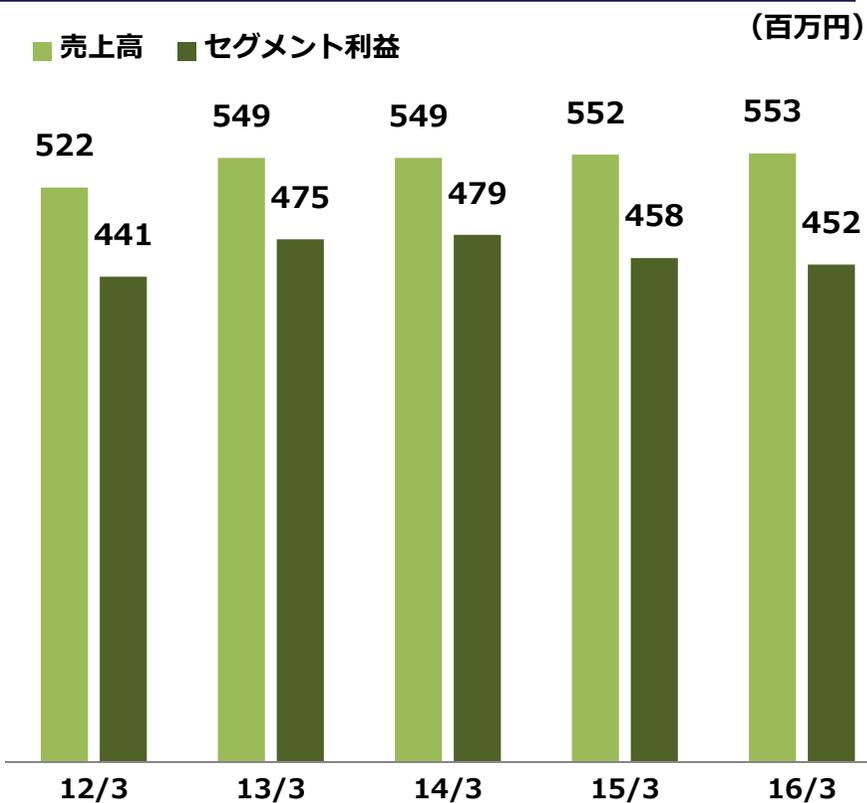
■ 保有不動産からの安定収益

保有資産の概要

名称	3号館ビル
所在	東京都品川区北品川5-11-3
土地面積	4,959.08㎡（うち62.0%）
建物構造	鉄骨・鉄骨鉄筋コンクリート造 陸屋根地下2階付8階建
建物延床面積	20,582.71㎡（うち62.0%）
竣工年月	1996年10月



不動産賃貸事業推移



2017年3月期第1四半期末 連結貸借対照表の概況

(単位：百万円、下段は構成比)

		2016年3月期末	2017年3月期第1四半期末		主な増減要因
				前期比増減額	
資産合計	流動資産	6,240 (47.7%)	6,094 (%)	▲146	【流動資産】 ・現金及び預金 ▲157 ・受取手形及び売掛金 ▲97 ・その他 +111 【固定資産】 ・投資有価証券 ▲309
	固定資産	6,845 (52.3%)	6,547 (%)	▲298	
	資産合計	13,085 (100.0%)	12,641 (100.0%)	▲444	
負債・純資産合計	流動負債	4,316 (33.0%)	4,461 (%)	+145	【流動負債】 ・支払手形及び買掛金 ▲253 ・電子記録債務 +279 ・その他 +214 【固定負債】 ・退職給付に係る負債 ▲34 ・その他 ▲113 ・その他有価証券評価差額金 ▲213 ・為替換算調整勘定 ▲151
	固定負債	2,460 (18.8%)	2,304 (%)	▲156	
	負債合計	6,776 (51.8%)	6,766 (%)	▲10	
	純資産合計	6,309 (48.2%)	5,875 (%)	▲433	
負債・純資産合計		13,085 (100.0%)	12,641 (100.0%)	▲444	
ネット有利子負債		46 (0.4%)	165 (1.3%)	+118	

※ネット有利子負債 = (短期借入金 + 長期借入金) - (現金及び預金)

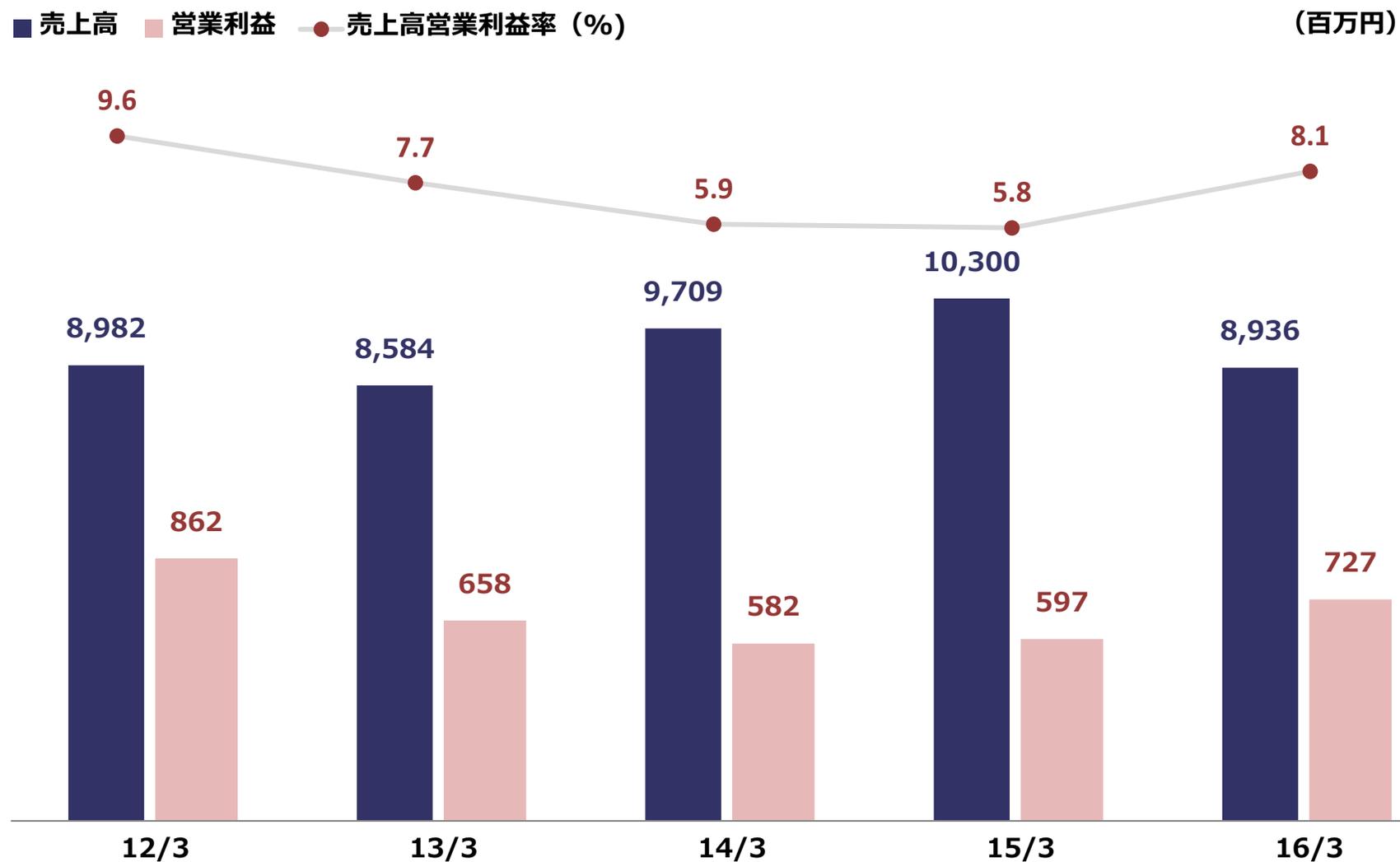
2017年3月期 連結損益の見通し

為替相場の円高ドル安進行の影響等により、前期比微増収ながら減益を見込む

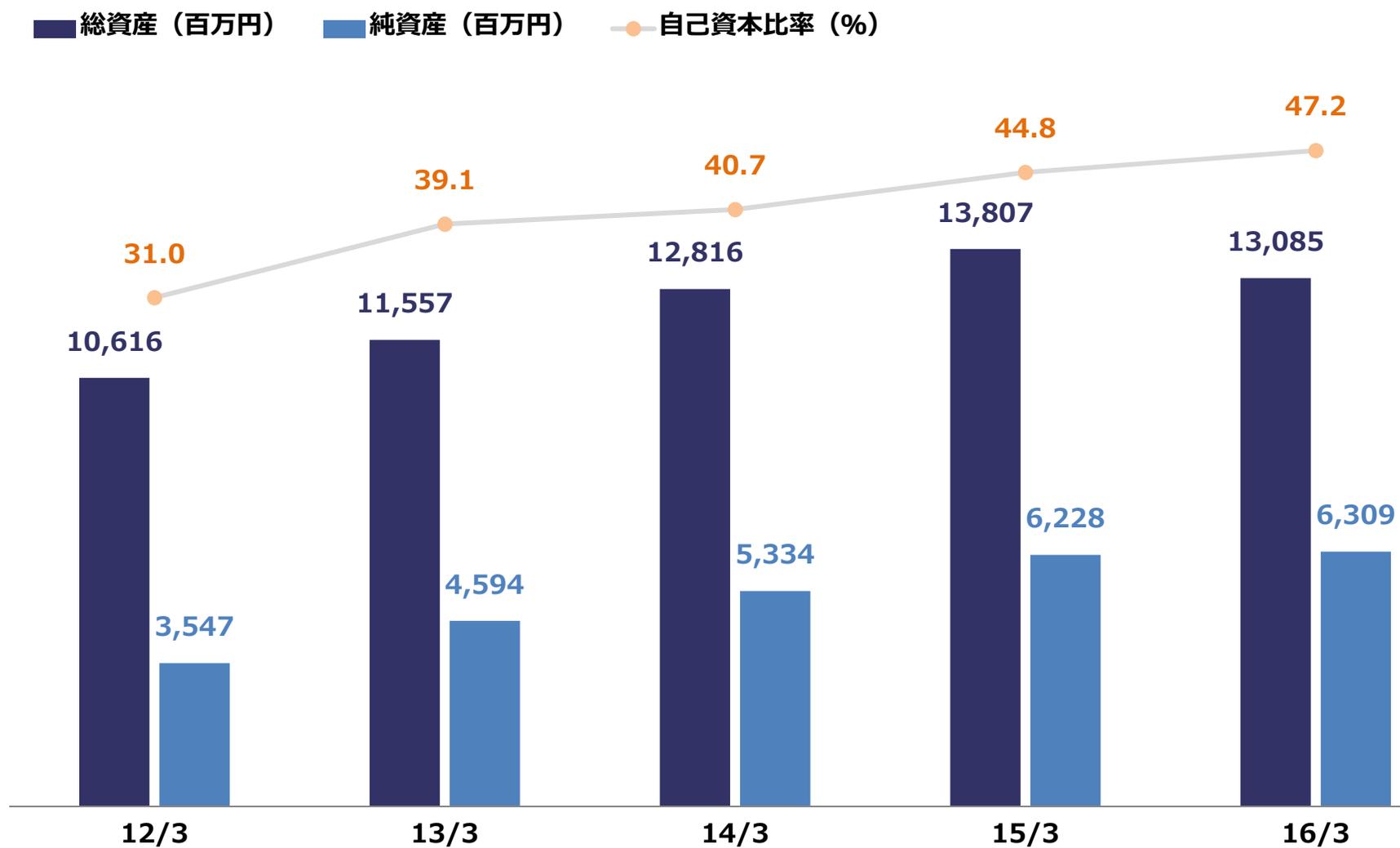
(単位：百万円)

	2016年3月期実績		2017年3月期計画		
		構成比		構成比	前期比
売上高	8,936	100.0%	9,000	100.0%	+0.7%
営業利益	727	8.1%	630	7.0%	▲13.4%
経常利益	668	7.5%	620	6.9%	▲7.3%
親会社株主に 帰属する当期純利益	498	5.6%	410	4.6%	▲17.8%
設備投資額	449	5.0%	470	5.2%	+4.5%
減価償却費	840	9.4%	770	8.6%	▲8.4%

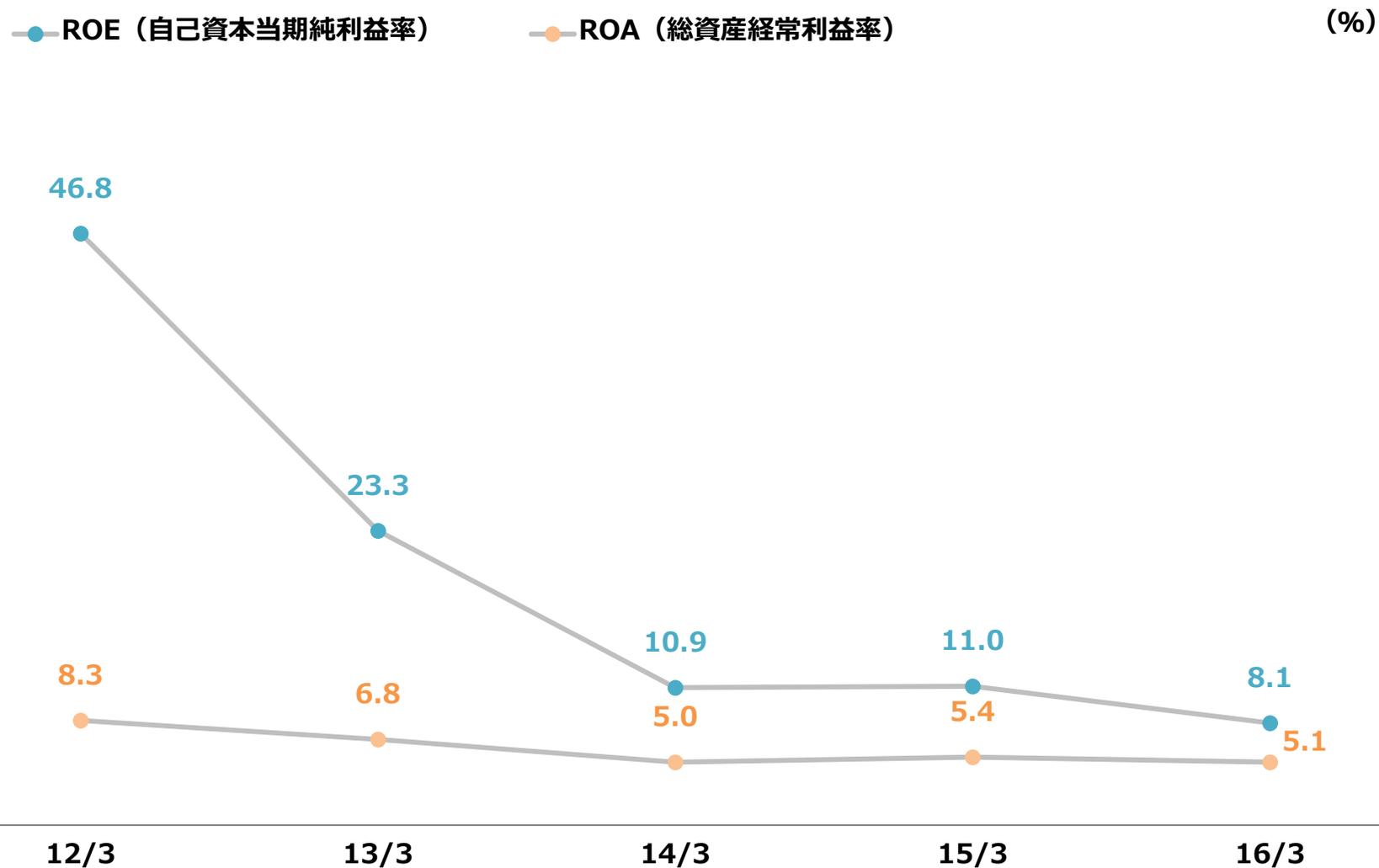
連結業績推移 (1)



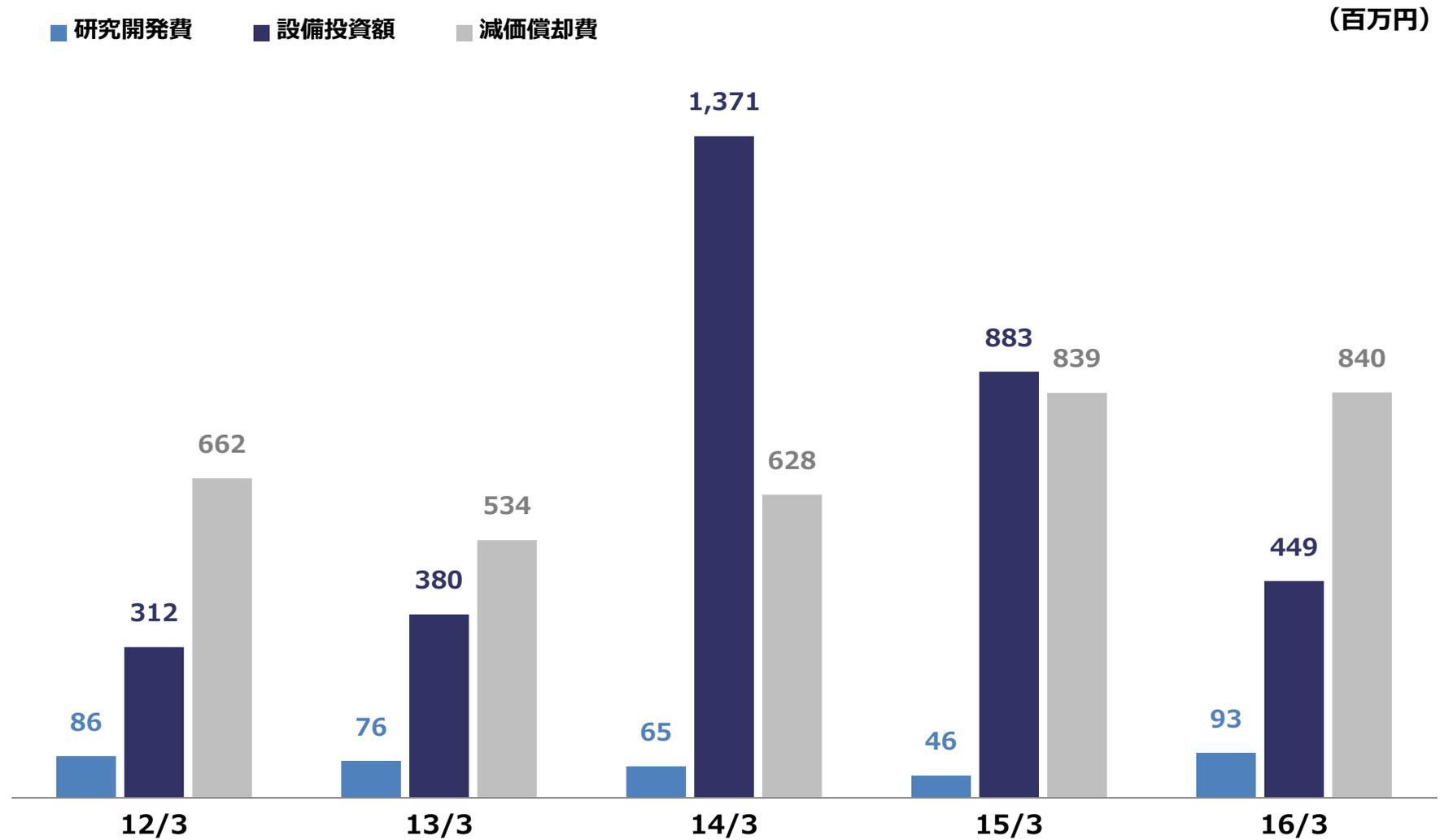
連結業績推移 (2)



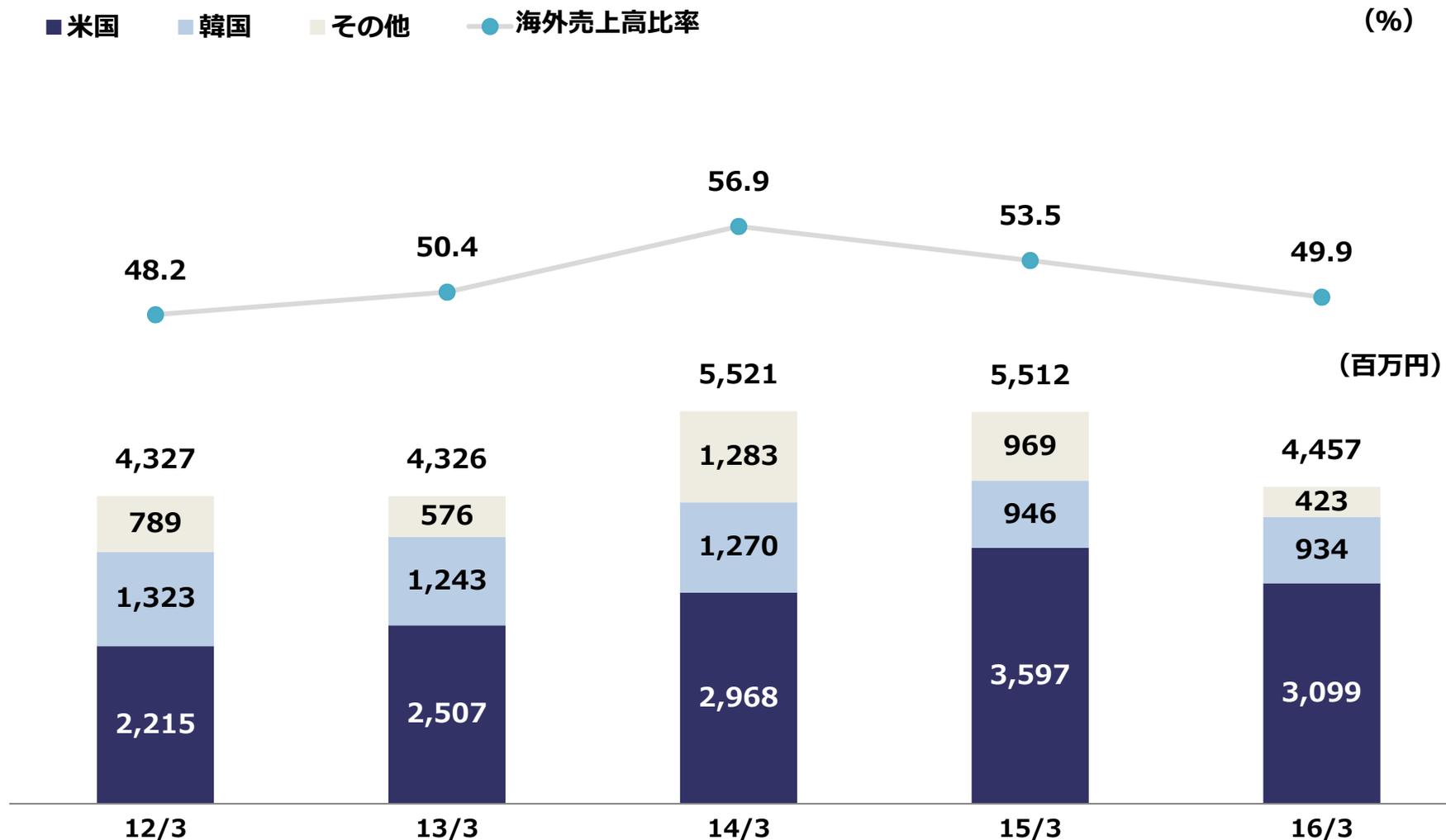
連結業績推移 (3)



研究開発費・設備投資額・減価償却費の推移



海外売上高推移



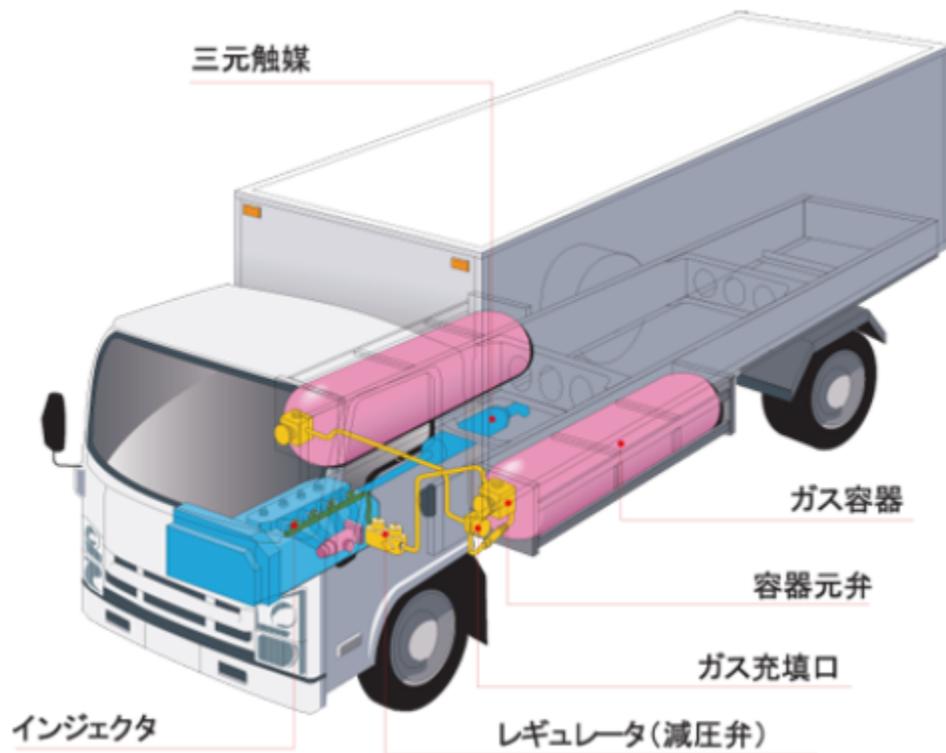
『ニッキフィロソフィ』の策定

ニッキグループのメンバー全員が、あらゆる行動の基本として、大事に思い追求していく考え方として、ニッキフィロソフィを定めました。

1. 多様化するエネルギー資源の有効活用に役立ち、環境保全に寄与する燃料供給システムの開発・製造を行い、社会に貢献する。
2. 品質、性能、価格の基準だけでなく、プラスアルファの付加価値を増強する。
グローバルなステージでのお客様や市場との率直な対話、コミュニケーションの実践と深化を通じて、商品・サービスに新たな価値を付与する。
3. 勉強しよう、成長しよう。
たゆまぬ挑戦を継続実践し、事業活動を通じて一人一人が成長し、共に成果を確かめ合い、充実感を味わおう。

(ご参考) 天然ガス自動車の構造と特徴

天然ガス自動車（CNG車）の構造（トラック）



出所：日本ガス協会

	利点	欠点
CNG/LNG車	<ul style="list-style-type: none"> 燃料費が割安 環境負荷が小さい パワーが強い LNG車はCNG比で航続距離が長い 	<ul style="list-style-type: none"> 燃料充填施設が限られる 車両価格がやや高め
HV/EV車	<ul style="list-style-type: none"> モーター駆動時は環境負荷が最も小さい 	<ul style="list-style-type: none"> パワーに制限あり 充電施設が限られる
ディーゼル車	<ul style="list-style-type: none"> 給油場所は十分にある パワーが強い 車両価格が安い 	<ul style="list-style-type: none"> 窒素酸化物などを排出

CNG (Compressed Natural Gas) 車：

天然ガスを気体のまま、高圧 (20MPa) でガス容器に貯蔵する車両

LNG (Liquefied Natural Gas) 車：

天然ガスを液体状態 (-162℃) で、超低温容器に貯蔵する車両

(ご参考) 当社を取り巻く環境

拡大する市場に的確に対応し、持続的成長を実現する

事業	種類	特徴
ガス機器事業	大型/トラックバス	<ul style="list-style-type: none">■ 市場は拡大傾向■ OEM中心で高価格■ 技術的要求水準が高く、参入障壁が高い
	中小型/乗用車	<ul style="list-style-type: none">■ 市場拡大が続くが、国、地域によって価格と種類がまちまち■ 低価格品が主流■ OEMも増えつつある
汎用機器事業	キャブレタ	<ul style="list-style-type: none">■ 市場は緩やかに拡大■ 米国中心のマーケット■ 中国製品との競争が激化
	燃料噴射装置	<ul style="list-style-type: none">■ 今後、市場規模の拡大が見込まれる

-
- 本資料は株式会社ニッキ（以下、当社）の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
 - 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
 - また、経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

株式会社ニッキ 総務部経理課

TEL : 046-285-0228 / E-mail : ir@nikkinet.co.jp